

～経済発展と地下水保全の両立に向けて～

「ここから始める くまもの半導体・地下水セミナー」を開催しました

3月29日に、町民の半導体関連産業への理解を深め、地域との共生を図ることを目的に、熊本高等専門学校と町が連携して開催し、町民ら約100人が参加しました。冒頭で吉本町長が、各企業による地下水涵養事業に対する協力への感謝や、半導体産業への理解を深めて欲しいことなどを述べました。地下水や水質保全の取り組みを町から説明した後、各登壇者から、半導体製造工程での水の使用や排水処理、環境への取り組みを説明しました。

町の説明(小牧副町長)

町は、経済発展と地下水保全の両立のため、地下水涵養のさらなる推進に取り組んでいます。農家と企業の協力により、令和6年度は、年間1,200万トンを超える量を新たに涵養しました。

また、地下水の水質を守る取り組みについて、下水道普及率が99.7%となっている本町では、住宅や工場からの汚水を下水道施設で処理することで、良好な環境を保っています。

熊本高等専門学校の説明(小山特命教授・名誉教授)

熊本県は、水道水の80%以上を地下水で賄っており、全国で見ても地下水が豊富な地域です。

半導体製造工程では、30～40%を洗浄工程が占めるため、多くの水を使用しますが、熊本地域の用途別の年間取水量をみると、住民も生活用水として多くの地下水を使用しており、企業だけではなく、住民も一緒に地下水保全に取り組んでいく必要があります。

東京エレクトロン九州(株)の取り組み(プロセス技術部小林チーフエンジニア)

本社は、半導体を製造する装置をつくる会社です。ソニー様やJAS M様などで、弊社の装置がたくさん使用されています。

半導体の製造には、大量の水と電力を使用します。私たち製造装置メーカーが環境に優しい製造装置の開発を進めることで、半導体を製造する際の環境負荷軽減に貢献することができます。生産性を向上し、水だけでなく、電力の使用量も削減できる装置を提供していきます。

また、涵養などの環境保全に向けた取り組みを継続していきます。



参加者に説明する吉本町長

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)の取り組み(安全環境部熊本安全環境課江田統括課長)

日本企業として初めて湛水による地下水涵養事業を開始し、取水量以上を涵養し続けています。

排水については、自社の処理施設で、法律の基準よりさらに厳しい自社基準を設けて管理しています。

自社で処理できない廃棄物については、自社基準で評価した外部業者に委託し、全ての廃棄物の最終処分の状況をマニフェストを使ってしっかり確認しています。

また、工場内の下水配管などは、異常時に容易に対応できるように、地上化するなど、土壌への汚染を未然に防ぐ対策を徹底しています。

JAS M(株)の取り組み(ファシリティエンジニアリング部水処理課山本シニアエンジニア)

排水を分別し、先進的な水処理システムを活用することで、使用水の75%以上を再利用しています。また、取水量以上の涵養を約束しており、地下水涵養をさらに推進することに注力しています。

さらに、熊本大学や熊本県立大学と連携し、地下水の持続可能な利用に向けて、水位観測・水質分析などを行い、産官学で共有・活用することで、経済活動と環境保全が両立した社会の実現の下支えを目指していきます。

TOPICS

本セミナーで、県が行った環境モニタリング調査の結果に関する報道内容の質問がありました。

(回答) 坪井川の調査地点において、有機フッ素化合物(PFAS)2種類(PFBS、PFBA)の濃度が増加したとの結果が報告されましたが、海外の飲料水基準より低い濃度であり、毒性が低く、現時点で問題ないものと聞いています。今後も、県で、調査・検証を継続することとしており、状況を注視していきます。

今後の取り組み

近年、半導体関連企業の進出・集積に伴う、地下水の量や質への影響を懸念する声が上がっています。

今後も、企業と農家、行政が連携しながら、地下水の保全に取り組むとともに、地下水の量や質などについて、正しい情報を町民の皆さんに発信していきたいと考えています。

歌声に思いをのせて、全国へ。

NHKのど自慢を開催しました



菊陽誕生70周年記念文化事業

「NHKのど自慢」公開生放送

3月16日に、総合体育館でNHKのど自慢を開催しました。前日の予選を突破した20組が、ステージで歌を披露し、素晴らしい歌声を全国に届けました。出場者の歌唱後には、ゲストの小林幸子さん、夏川りみさんがパフォーマンスを披露し、来場者を楽しませました。

予選を突破し、本選に出場した江島均さん(津久礼ヶ丘)は「とても大きいステージで素晴らしいので、緊張せずに楽しかった」と喜びをあらわにしました。

1～5、8 本選に出場した町民の皆さん(江島さんは3) 6 待望ののど自慢開催に笑顔の観覧者 7 のど自慢恒例の鐘を体験する

